

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成

報 告 書

平成 25 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本海事検定協会

(検査第二サービスセンター)

目次

1. 目的
2. 調査方法
3. 調査結果
4. まとめ

1. 目的

当会の長年にわたる石油・化学品貨物等の液体貨物輸送に係わる検査業務を通じて獲得した、液体貨物の物理的・化学的性質、貨物の取扱い、輸送上の安全または品質確保に関わる注意事項、通関数量計算に適用される容積換算係数・密度補正係数・密度の物理定数などの多種多様な情報を、データベース化してウェブ上に掲載する事により、液体貨物の海上輸送に携わる輸出入商社、船会社、製造会社ならびに保険会社等の不特定多数の関係者が上記情報を容易に入手することが可能になることで、液体貨物の海上輸送に関わる安全性の向上および国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の取引の円滑化に寄与する。

2. 作成方法

今まで当会が原油・石油製品・化学品の検査、調査研究を通じて得られた知見を基に得られた情報が収められている「化学製品取扱必携」（1989年発行、当会編集）に記載の石油類・化学品類・液化ガス類の物理的・化学的性質、国内外規格について、最新の国内外規格や多数の参考文献等を購入し専門家により多角的に検証した。

また各種貨物の取扱い上の注意点、海上輸送上の注意事項、試料採取時の要点、各種貨物の危険性・有害性・事故予防および応急処置等の安全に深く関与する危険性、物理的・化学的性状、許容濃度等について内容を精査し、必要に応じ加筆した。

3. 作成結果

液体貨物の取扱いに関するデータベースの作成結果は別紙の通りで、必要に応じて適宜改訂する。